

宮崎県社会福祉サービス第三者評価結果書

評価完了日 令和 8年 3月23日

評価機関 特定非営利活動法人みやざき保健・福祉サービス評価機構

評価実施期間 令和 7年11月25日～ 令和 8年 3月23日

1 第三者評価結果の概要

(1) 施設・事業所情報

施設・事業所名	社会福祉法人 協和福祉会 幼保連携型なかよし認定こども園	種別	認定こども園
代表者氏名	園長 玉村 愛	定員 (利用人数)	1号・新2号認定 15名 2号・3号認定 40名
所在地	宮崎県えびの市向江古川 98 番地	TEL	0984-37-2063
		FAX	0984-48-5757
ホームページ	https://ebino.net/nakayoshi/introduction/		

(2) 評価結果

① 特に評価の高い点

①専門性や資質の向上に向けた体制が構築できています。

導入している保育方法の専門性の会得や食育の推進、また保健指導など、保育・食育や献立作成・保健指導など職種ごとに資質向上に向け教育・研修の機会を提供しています。また、キャリアパスを作成し階層別研修や処遇改善に沿う内容の受講できるようにしています。さらに職員個人が受けた内容の研修にも参加をさせるなど自発的・能動的に興味・関心のある研修を受けさせるなど環境を整えています。

②働きやすい環境を整えています。

人材確保の取組みは、定員を引き下げて対応している状況もあり、新規採用より職員の定着に向け注力しています。働き方では、家庭の事情や本人の都合を配慮し、時間単位の有給休暇の取得ができるようにしてあります。育児休暇や病気等、急な休みにも柔軟に対応し、職員のワークライフバランスの両立が整うように配慮しています。また、日常業務でもDX推進に取組み、指導計画作成・児童票作成・発達チェック・健康管理・登降園管理、そして日々の連絡記録などでICTを導入しています。さらに、午睡チェック・監視カメラなどのIOT機器の設置をしたりするなど業務の効率化・合理化を進めて、労働時間の短縮や労務の最適化が図れるようにしています。

③豊かな自然を活かした食育、基礎体力づくりに力を入れています。

無農薬の田んぼでの田植え、稲刈り、脱穀体験、野菜作り、梅干し、味噌作り、手作りヨーグルト、職員が栽培した無農薬の釜炒り茶などを給食やおやつで提供するなどして、食育に力を入れておられます。

「体に良いものを食べて、元気な体をつくる」取組みは自然豊かな地域であることを活かしており、保護者からも高い評価を得ています。

② 改善が求められる点

① 中長期計画の作成は、多角的な視点で検討されるよう望みます。

人口減少に比例して園児も減少しており、その点で人口減少に歯止めをかけるべく、行政機関に働きかけ協力しながら運営していく方針を理事長が打ち出されていますが、それゆえに中長期計画の作成が困難な状況にあることは理解できます。一方、園児確保以外で園の子育ての資源や機能を活かす取組などに目を向け、地域の福祉ニーズの発掘、自治会や商工会、民生・児童員等、地域の各機関との関係性にも注力されることを期待します。

② 地域住民に向けた情報開示、情報発信についての取り組みに期待します。

一般の方には、園の運営状況や財務に関する内容については、WAMのサイトで確認できるように情報を公表しています。一方で、園と関係がある保護者や地域住民への情報提供については、ホームページの閲覧や広報誌等で提供することが考えられますが、ホームページは定期的な更新ができておらず、広報誌等も配布していない状況があることが課題として挙げられています。今後は、保護者や地域住民が容易に情報を取得できるよう、園の情報を発信する方策について対応が望まれます。

③ 評価結果に対する施設・事業所のコメント

・特に評価の高い点として、職員の専門性や資質の向上に向けた体制を構築できていることや、職員が働きやすい環境を整えていること、また、当園が力をいれている「食」に関してのことなどを評価して頂き嬉しく思います。保護者の方のアンケートでも「給食」に対して高い評価や、「知り合いの保護者にこの園を進めたいです」「毎日楽しそうに通ってくれているので、園でいい生活が送れているのだと思います」「温かい先生方で、親も子も安心して園生活を送らせてもらっていて感謝しています」など、職員一同日頃の保育を評価して頂いているようでとても励みになるお言葉を頂きました。

また、課題点や要望についても今後見直していきたいと思えます。

・改善が求められる点として挙げられている、自治会や商工会、民生・児童員等、地域の各機関との関係性が薄いと感じたので今後連携をもっと取っていかれたらと思えます。また、ホームページやInstagramなど SNS での発信にも力を入れていきたいと思えます。

・今回初めて第三者評価を受けさせていただいて、今やっていることが正しいのかこれであっているのか、などの日頃の保育の見直しをする良い機会となりました。

引き続き良い所は残し、課題のある所は改善して資質の向上に努めたいと思えます。

2 施設・事業所情報

経営法人・ 設置主体	社会福祉法人 協和福祉会
開設年月日	昭和54年10月
理念・基本方針	<p>「毎日にこんにちは みんなにありがとう なかよし認定こども園」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちは子供たちの可能性を尊重し、愛情をもって関わり、生きる力を育みます。 2. 私たちは仲間と通じ合える喜び、笑顔、思いやり、感謝の気持ちを大切にし、共に育ちあいながら歩み続けます。 3. 私たちは自然やふるさとが、どれだけすばらしいかを伝えていきます。 4. なかよし認定こども園は、関わるすべての人たちの心のよりどころとして存在します。
事業内容	<p>幼保連携型認定こども園 一時保育事業 (地域子育て支援センター)</p>
職員数	<p>常勤職員数 11名 非常勤職員 10名</p>
専門職	<p>(専門職の名称)</p> <p>保育教諭 14名 看護職 1名 調理員 1名 調理補助 3名</p>
施設・設備の概要	<p>保育室・事務室・医務室・調理室・多目的室・プール・沐浴室 トイレ・シャワー室・洗濯室・園庭</p>
特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・園所有の田んぼで無農薬の米やお茶、手作りの味噌やヨーグルト、野菜などを園で作り、体に良いものを昼食やおやつでとして提供している。 ・一日に必要なカロリーの半分が園で摂取できる。 ・副食費の4000円は園が負担している。 ・自然が豊かな環境で園庭も広く、体力づくりに力を入れている。 ・地域子育て支援センターが併設されており、連携している。 ・夏は毎日、地下水を利用したプール遊びができる。 ・生後57日目から預けることができる。 ・一時保育、延長保育の実施。 ・自主事業として、休日保育を実施。